

平成17年8月

# 地場企業の経営動向調査

(平成17年度第1四半期)

平成17年 8月 5日

 福岡商工会議所

経済部地域経済グループ

TEL 092-441-1118

## 調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

## 調査対象

当所会員企業を対象とし1,500社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業 1,383社（構成比率92.2%）、大企業 117社（構成比率7.8%）により構成されている。

回答した企業数は693社、回答率46.2%となっており、回答企業の内訳は、中小企業642社（構成比率92.6%）、大企業51社（構成比率7.4%）となっている。

中小企業の範囲は中小企業基本法の定義に基づく。

## 調査要領

四半期毎にアンケート用紙を郵送、前年同月比の回答を求めるもので、今回は平成17年4～6月期の実績、及び平成17年7～9月期の予想について、平成17年6月末時点で調査した。

## 調査内容

DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」）

### 景気・経営動向調査

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 売掛期間
8. 資金繰り
9. 100万円以上の新規借入

平成17年度第1四半期

調査対象企業数及び回収結果

規模別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	693	46.2%	
中小企業	1,383	642	46.4%	92.6%
大企業	117	51	43.6%	7.4%

業種別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	669	44.6%	
建設業	317	142	44.8%	21.2%
土木建設業	113	56	49.6%	8.4%
建設付帯工事業	94	48	51.1%	7.2%
電気・管工事業	110	38	34.5%	5.7%
製造業	223	124	55.6%	18.5%
食料品製造業	50	24	48.0%	3.6%
繊維製品製造業	13	9	69.2%	1.3%
建材・木・紙製品製造業	7	5	71.4%	0.7%
印刷・製本業	48	19	39.6%	2.8%
窯業・土石製品製造業	7	2	28.6%	1.4%
金属製品製造業	26	18	69.2%	2.7%
一般機械器具製造業	27	19	70.4%	2.8%
電気機械器具製造業	27	17	63.0%	2.5%
その他製造業	18	11	61.1%	1.6%
卸売業	320	164	51.3%	24.5%
食料品卸売業	65	28	43.1%	4.2%
繊維製品卸売業	47	21	44.7%	3.1%
建材・住宅機器卸売業	60	37	61.7%	5.5%
紙・文具・事務機卸売業	7	3	42.9%	0.4%
金属・鋼材卸売業	2	1	50.0%	0.1%
一般機械器具卸売業	34	20	58.8%	3.0%
電気機械器具卸売業	15	9	60.0%	1.3%
石油・化学製品卸売業	12	6	50.0%	0.9%
ゴム・皮革製品卸売業	4	1	25.0%	0.1%
その他卸売業	74	38	51.4%	5.7%
小売業	215	87	40.5%	13.0%
食料品小売業	47	21	44.7%	3.1%
衣料品・身の回り品卸売業	45	17	37.8%	2.5%
石油・化学製品小売業	10	6	60.0%	0.9%
車両運搬具小売業	14	6	42.9%	0.9%
家電・厨房器具小売業	9	4	44.4%	0.6%
百貨店・セルフ店	9	5	55.6%	0.7%
その他小売業	81	28	34.6%	4.2%
運輸・倉庫業	62	30	48.4%	4.5%
旅客運送業	16	11	68.8%	1.6%
貨物運送・倉庫業	46	19	41.3%	2.8%
サービス業	363	146	40.2%	21.8%
情報処理サービス業	51	16	31.4%	2.4%
その他事務所サービス業	219	89	40.6%	13.3%
ホテル・旅館・飲食業	55	24	43.6%	3.6%
その他の個人サービス業	38	17	44.7%	2.5%

## 「 福商・経営動向調査 」 調査結果

### 景況概況（DI値の動き）

1. 自社業況は今期 17.7 と、前期との比較でプラス8.0ポイント改善しており、2期ぶりに改善した。  
業種別では、「建設業」プラス13.3ポイント、「卸売業」プラス12.7ポイント、「製造業」プラス10.6ポイント、「小売業」プラス9.1ポイントの改善に対して、「運輸・倉庫業」マイナス25.2ポイント、「サービス業」マイナス0.4ポイントの悪化となっている。  
次四半期については、今期実績との比較でプラス4.7ポイントの改善が予測されている。  
全体としてはこれまでの一進一退の景気回復の状態より脱し、改善傾向の動きが見られる。
2. 業界の景気動向は今期 35.2 と、前期との比較でプラス5.0ポイント改善しており、4期ぶりに改善した。業種別でも、「製造業」「卸売業」が共に4期ぶりの改善、また「建設業」では4期連続の改善となった。  
次四半期についても、引き続きプラス6.9ポイントの改善が予測されている。
3. 生産額、売上高、完成工事高は今期 13.1 と、前期との比較でプラス8.4ポイント改善となっており、業種別では4業種に改善が見受けられたのに対し、「サービス業」マイナス0.1ポイント、「運輸・倉庫業」ではマイナス27.1ポイントと大きく悪化している。  
次四半期については、10.5 とプラス2.6の改善が予測されている。
4. 原材料、製（商）品仕入価格は今期 30.4 と、前期との比較でプラス2.0ポイント上昇した。業種別では、4業種で上昇しており、特に「製造業」では8期連続で上昇となり、54.1ポイントの高水準となった。その原因として主に「原油の高騰」や「食材の高騰」が指摘されている。  
次四半期については、26.7 と、今期比マイナス3.7ポイントの下落予測となっている。
5. 受注価格、販売価格は今期 26.0 と、前期との比較でマイナス0.3ポイントの下落となっている。業種別では、「運輸・倉庫業」プラス15.5ポイント、「製造業」プラス5.3ポイント、「小売業」プラス4.5ポイントの改善となっている。一方で、悪化しているのは「卸売業」マイナス0.7ポイント、「建設業」マイナス1.8ポイント、「サービス業」マイナス11.5ポイントとなっている。  
次四半期については、18.8 と、プラス7.2ポイントの改善が予測されている。
6. 営業利益は今期 26.2 と、前期との比較でプラス8.4ポイントの改善となっている。業種別では5業種に改善が見受けられたのに対し、「運輸・倉庫業」のみがマイナス21.2ポイントの悪化となっている。  
次四半期については、23.9 とプラス2.3ポイントの改善が予測されている。

- 7 . 売上増加の理由は前期に引き続き、「受注、需要の増加」54.0%、「得意先開拓・客数の増加」44.4%の順となっている。  
また、減少の理由についても「受注、需要の減少」72.4%、「客単価の低下」36.9%、「得意先開拓・客数の減少」33.2%の順位に変動はなかった。
- 8 . 当面の経営上の問題点としては、「受注・販売競争の激化」が60.8%、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」が50.6%、「営業利益の低下」が45.9%と、3項目へ指摘が集中している。  
業種別では、建設業の「官公需要の停滞」、製造業の「原材料高、入手難」・「出荷、納品価格の値下げ要請」・「販売価格への転嫁難」、運輸・倉庫業の「経費の増加」、卸売業の「出荷、納品価格の値下げ要請」・「販売価格への転嫁難」、小売業の「同業者、類似店、大型店の進出」は、それぞれ30%超の指摘割合となっている。

### 参考指標

日経平均株価 11,584.01 円 (平成 17 年 6 月 30 日 終値)

対米ドル円相場 110 円 36 銭 ~ 38 銭 (平成 17 年 6 月 30 日 17 時)

新発 10 年国債利回り 1.165% (平成 17 年 6 月 30 日 終値)

原油価格(WTI) US\$56.50/バレル (平成 17 年 6 月 30 日 終値)

## DIの特徴的な動き

7月の月例経済報告(内閣府)では、「景気は弱さを脱する動きが見られ、緩やかに回復している」として前月からの判断を据え置いた。

併せて「企業収益は改善し、設備投資は緩やかに増加している。個人消費は、持ち直している。雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善に広がりが見られる。輸出・生産は横ばいとなっている。先行きについては、企業部門の好調さが持続する中で、家計部門も改善しており、世界経済の着実な回復に伴って、景気回復は底堅く推移すると見込まれる。一方、情報化関連分野で見られる在庫調整の動きや原油価格の動向等には留意する必要がある。」としている。

政府がこのような判断を示している中、当所の今四半期(平成17年4～6月)調査において、地場企業の自社業況判断指数(DI値=前年同期と比較し「良くなった」とする回答割合から「悪くなった」とする回答割合を引いた数値)の全業種平均DIは17.7となり、前期(平成17年1～3月)の25.7と比べマイナス幅は8.0ポイント縮小し、2期ぶりの改善となった。

### 【DI値の推移】

H14 第2 期	H14 第3 期	H14 第4 期	H15 第1 期	H15 第2 期	H15 第3 期	H15 第4 期	H16 第1 期	H16 第2 期	H16 第3 期	H16 第4 期	H17 第1 期
43.0	41.7	35.1	37.2	28.6	28.0	16.6	19.9	27.3	23.5	25.7	17.7

業種別のDI値を前期と比べてみると、改善しているのは建設業プラス13.3ポイント、卸売業プラス12.7ポイント、製造業プラス10.6ポイント、小売業プラス9.1ポイント。一方、悪化しているのはサービス業マイナス0.4ポイント、運輸・倉庫業マイナス25.2ポイントとなっている。また、企業規模別では、中小企業についてはプラス6.8ポイント、大企業についてもプラス21.8ポイントと共に改善している。

次期予測については、全業種平均DIは13.0と今期実績と比べプラス4.7ポイントの改善が予測されている。

自社の属する業界の景気動向DI値については、今期35.2と、前期との比較でプラス5.0ポイントの改善となっている。

生産額、売上高、完成工事高のDI値については、今期 13.1 と、前期との比較でプラス 8.4 ポイントの改善となっており、業種別では、運輸・倉庫業を除く 5 業種で改善が見られた。

売上が増加した理由については、前期に引き続き「受注、需要の増加」54.0%、「得意先開拓・客数の増加」44.4%に集中している。逆に、減少した理由として「受注、需要の減少」72.4%、「客単価の低下」36.9%、「得意先、客数の減少」33.2%の順も前期同様であった。

原材料、製（商）品仕入価格は、今期 30.4 と、前期との比較でプラス 2.0 ポイント上昇となった。業種別では、製造業については 8 期連続の上昇により 54.1 ポイントの高水準となった。卸売業についても 6 期連続の上昇となっている。

次四半期については、今期比マイナス 3.7 ポイントとなる 26.7 が予測されている。

受注価格、販売価格については、今期 26.0 と、前期との比較でマイナス 0.3 ポイントと 2 期ぶりの悪化となっている。業種別ではサービス業においてマイナス 11.5 ポイント、建設業マイナス 1.8 ポイント、卸売業マイナス 0.7 ポイントの悪化となっている。

一方で、改善しているのは運輸・倉庫業プラス 15.5 ポイント、製造業プラス 5.3 ポイント、小売業プラス 4.5 ポイントとなっている。

次四半期については、18.8 とプラス 7.2 ポイントの改善が予測されている。

営業利益は今期 26.2 と前期との比較でプラス 8.4 ポイントの改善となっている。業種別では建設業プラス 15.6 ポイント、サービス業プラス 10.7 ポイント、小売業プラス 8.5 ポイント、製造業プラス 8.1 ポイント、卸売業プラス 4.7 ポイントの改善となった。一方で、運輸・倉庫業がマイナス 21.2 ポイントと唯一悪化した。

次四半期については、23.9 とプラス 2.3 ポイントの改善が予測されている。

当面の経営上の問題点としては、「受注・販売競争の激化」60.8%、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」50.6%、「営業利益の低下」45.9%の 3 項目が全業種共通した指摘事項となった。他に指摘が集中している項目として、建設業の「官公需要の停滞」、製造業の「原材料高、入手難」および「販売価格への転嫁難」、卸売業の「販売価格への転嫁難」、小売業の「同業者、類似店、大型店の進出」、は、それぞれ 30%を超える結果となった。

## まとめ

今期の自社業況については、業種別では、建設業・製造業・卸売業・小売業が堅調に改善した。全業種(DI値 17.7)で見ても、過去5年間では平成16年1~3月期(DI値 16.6)に次ぐ水準となっており、景気動向としては、これまでの一進一退の状況を脱して改善の傾向が鮮明になっている。

DI値が堅調に推移した理由としては、運輸・倉庫業とサービス業を除く4業種で前期の予測を上回る改善が見られたことによる。今期の特徴としては、GWや梅雨の期間に好天の日が続いたことが消費の面でプラスに働いたことが挙げられる。

小売業では「夏物衣料」や「UV関連商品」が早い時期から動いて好調。また「クールビズ」運動は「父の日」と重なりシャツを中心とした紳士衣料を押し上げている。特に天神地区においては「確実に消費の上向きを感じる」との意見が複数上がっている。

建設業においては3月・4月の震災における特需が限定的に発生したことやマンション・アパートを中心とした民間需要の動向に上向きが指摘されるなど堅調に推移した。また、比較的遅れていたリストラによる企業体質の改善効果も出てきつつあるようだ。

今回悪化幅が大きかった運輸・倉庫業においては、「燃料である原油の高騰」から価格転嫁難による営業利益の低下や「梅雨時期の好天」の悪影響などが指摘されている。また3月・4月の震災による設備被害の声も出ている。

前期の予測(DI値 22.0)を超える改善となった今期実績(同17.7)から、次期予測(DI値 13.0)においてはさらに改善が見込まれている。建設業を除く5業種において改善が予測されており、特に小売業では今期比プラス15.0ポイントの改善を見込んでいる。消費回復の実感と共に、既に7月に入ってからバーゲンセールも好調に推移していることから、来期(7~9月期)への期待ぶりが伺える。

しかしながら、建設業では今期比マイナス5.6ポイントの予測であり、「公共投資」が依然抑制された状況に危機感を抱いているように見受けられる。

以上のように次四半期については、全業種平均の自社業況は今期の流れを受けて引き続き改善すると予測されており、DI値 13.0の水準は、(バブル崩壊後最初の景気回復のピークとされる)平成8年4~6月期(DI値 4.2)以降最高値となる。

全体の景気観としては、これまでの「一進一退の踊り場」の状況から脱して、回復に向けた動きとなっている。

# 1. 自社・業界の景況

《自社景況は2期ぶりの改善、次期予測はさらに改善へ》

今四半期（H17年4～6月）の地場企業の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は22.5%（前期比+3.8ポイント）、悪くなったと回答した企業割合は40.2%（前期比 4.2ポイント）、横ばいであると回答した企業割合は36.8%（前期比+0.2ポイント）となった。DI値は17.7(前期DI 25.7)となり、前期比で+8ポイント改善した。

業種別に対前期比でDI値を見ると 建設業+13.3ポイント（前期DI 26.0）、卸売業+12.7ポイント（同 26.1）、製造業+10.6ポイント（同 33.3）、小売業+9.1ポイント（同 36.7）の改善となっている。一方では、運輸・倉庫業-25.2ポイント（同 14.8）、サービス業-0.4ポイント（同 12.6）の悪化となっている。

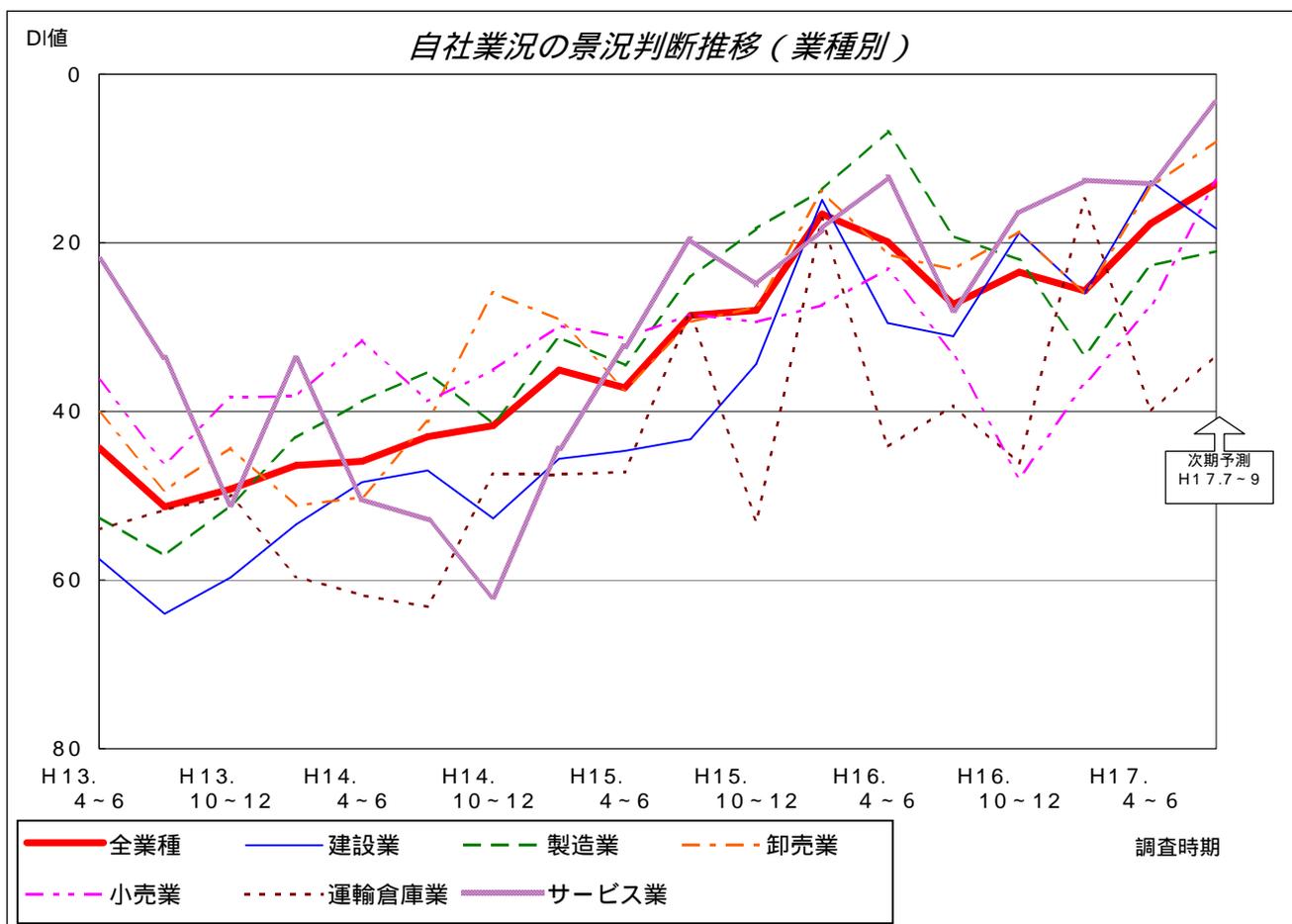
また、規模別の比較では、中小企業+6.8ポイント（前期DI 26.5）、大企業+21.8ポイント（同 15.9）と、共に改善しており、特に大企業では4期ぶりにDI値がプラスに転じている。

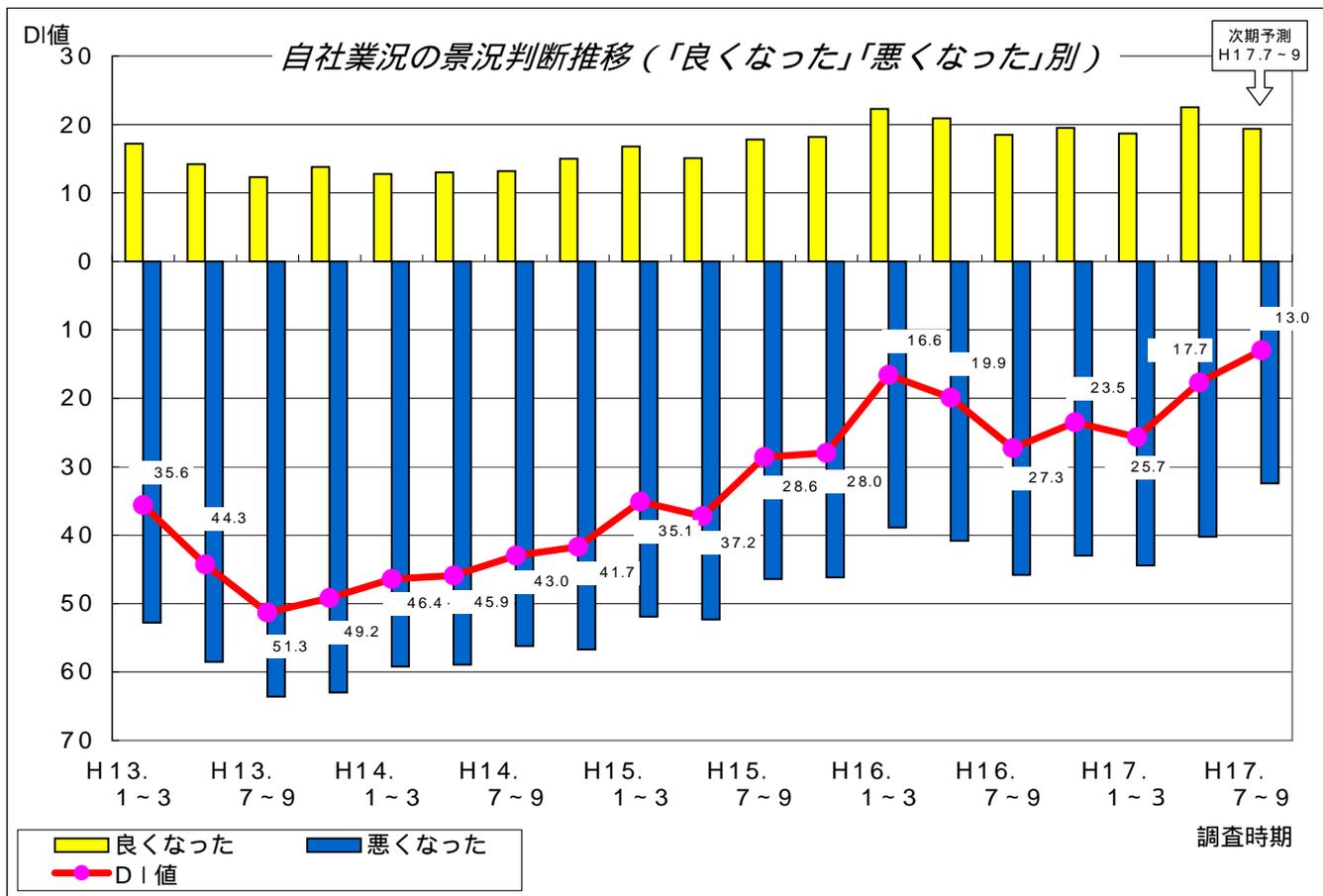
次四半期（H17年7～9月）の予測DIについては、13.0（今期比+4.7ポイント）となっており、改善が見込まれている。

（自社業況の総合判断(前年同期と比較して)）

（単位 %）

	今四半期(17年4～6月期)実績							次四半期(17年7～9月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	1.4	21.1	36.8	33.9	6.3	0.4	17.7	0.9	18.5	45.7	28.1	4.3	2.5	13.0
建設業	0.7	22.5	40.8	28.9	7.0	0.0	12.7	0.7	16.2	46.5	28.9	6.3	1.4	18.3
製造業	4.0	18.5	32.3	36.3	8.9	0.0	22.7	1.6	16.1	41.9	34.7	4.0	1.6	21.0
卸売業	0.0	23.8	39.0	32.3	4.9	0.0	13.4	0.6	20.1	48.2	25.6	3.0	2.4	7.9
小売業	1.1	18.4	33.3	40.2	6.9	0.0	27.6	0.0	21.8	40.2	28.7	5.7	3.4	12.6
運輸・倉庫業	0.0	10.0	36.7	40.0	10.0	3.3	40.0	0.0	10.0	43.3	40.0	3.3	3.3	33.3
サービス業	2.1	22.6	36.3	33.6	4.1	1.4	13.0	1.4	20.5	49.3	21.9	3.4	3.4	3.4
中小企業	1.2	20.6	36.3	34.6	6.9	0.5	19.7	0.8	18.2	45.0	28.8	4.7	2.5	14.5
大企業	3.9	27.5	43.1	25.5	0.0	0.0	5.9	2.0	21.6	54.9	19.6	0.0	2.0	4.0





### 業界の景況

《4期ぶりの改善、次期予測はさらに改善へ》

また、地場企業から見た自社の属する業界の景況判断指数（DI）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合が9.4%、「悪くなった」と回答した企業割合が44.6%、横ばいであると回答した企業割合が44.6%となっており、DI値は 35.2（前期DI 40.2）と前期比で+5.0ポイント改善している。

業種別に対前期比でDI値を見ると、製造業+10.4ポイント（前期DI 45.9）、小売業+10.1ポイント（同 48.0）、卸売業+8.9ポイント（同 46.1）、建設業+3.5ポイント（同 40.2）の改善となっている。一方では、運輸・倉庫業-27.1ポイント（同 29.6）、サービス業-0.1ポイント（同 25.2）の悪化となっている。

規模別の比較では、中小企業は前期比+4.0ポイント（前期DI 41.6）、大企業は前期比+16.7ポイント（同 22.7）と改善している。

次四半期予測DI値は 28.3と今期比+6.9ポイントの改善が予測されている。

（業界の景気動向（前年同期と比較して））

（単位 %）

	今四半期（17年4～6月期）実績							次四半期（17年7～9月期）予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	0.6	8.8	44.6	37.2	7.4	1.4	35.2	0.4	8.4	50.6	32.0	5.1	3.5	28.3
建設業	0.0	5.6	51.4	33.1	9.2	0.7	36.7	0.0	4.9	52.8	33.1	7.0	2.1	35.2
製造業	1.6	8.1	43.5	36.3	8.9	1.6	35.5	0.8	7.3	51.6	32.3	4.8	3.2	29.0
卸売業	0.0	11.0	40.2	42.7	5.5	0.6	37.2	0.6	9.1	47.6	35.4	4.3	3.0	30.0
小売業	0.0	9.2	42.5	40.2	6.9	1.1	37.9	0.0	10.3	46.0	33.3	6.9	3.4	29.9
運輸・倉庫業	0.0	0.0	36.7	50.0	6.7	6.7	56.7	0.0	0.0	46.7	46.7	0.0	6.7	46.7
サービス業	1.4	11.6	46.6	31.5	6.8	2.1	25.3	0.7	12.3	54.8	23.3	4.1	4.8	14.4
中小企業	0.6	8.1	43.6	38.5	7.8	1.4	37.6	0.5	8.3	49.5	32.9	5.5	3.4	29.6
大企業	0.0	17.6	56.9	21.6	2.0	2.0	6.0	0.0	9.8	64.7	21.6	0.0	3.9	11.8

## 2. 生産額、売上高、完成工事高

《2期ぶりの改善、次期予測はさらに改善へ》

生産額、売上額、完成工事高は、全業種平均で「増えた」と回答した企業割合は18.2%、「減った」と回答した企業割合は31.3%となっており、DI値は 13.1（前期 21.5）と前期比+8.4ポイント改善した。

業種別に対前期比でDI値を見ると、卸売業+17.5ポイント、製造業+16.0ポイント、建設業+8.0ポイント、サービス業+2.6ポイント、小売業は+0.3ポイント改善している。一方では運輸・倉庫業-26.0ポイントと悪化している。

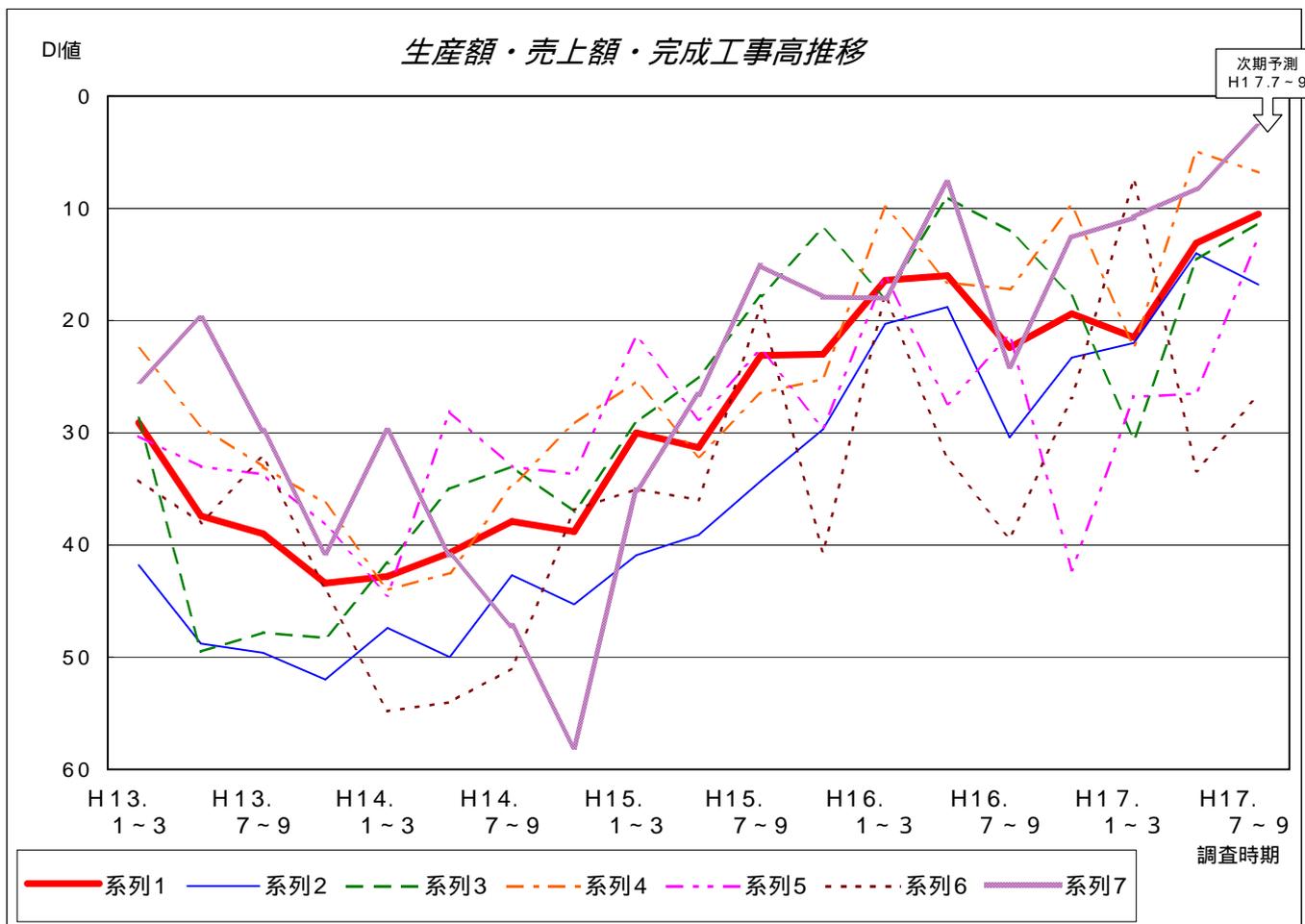
売上が増加した理由としては、「受注、需要の増加」54.0%、「得意先開拓・客数の増加」44.4%に集中している。一方で、減少した理由としては「受注、需要の減少」72.4%、「客単価の低下」36.9%、「得意先、客数の減少」33.2%の順となっている。

規模別では、中小企業はDI値(前期比)+8.2ポイント、大企業は同+9.9ポイントと改善している。

( 生産額、売上額、完成工事高(前年同期と比較して) )

( 単位 % )

	今四半期(17年4~6月期)実績							次四半期(17年7~9月期)予測						
	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全業種	5.1	13.1	47.0	24.8	6.5	3.5	13.1	2.3	13.1	53.5	21.4	4.5	5.2	10.5
建設業	4.2	10.6	52.1	21.8	7.0	4.2	14.0	2.1	8.5	57.7	21.8	5.6	4.2	16.8
製造業	5.6	12.1	47.6	25.0	7.3	2.4	14.6	1.6	14.5	51.6	22.6	4.8	4.8	11.3
卸売業	6.1	17.1	46.3	22.0	6.1	2.4	4.9	3.0	14.0	53.0	19.5	4.3	6.1	6.8
小売業	2.3	12.6	42.5	32.2	9.2	1.1	26.5	0.0	18.4	47.1	24.1	6.9	3.4	12.6
運輸・倉庫業	3.3	3.3	43.3	40.0	0.0	10.0	33.4	0.0	6.7	50.0	33.3	0.0	10.0	26.6
サービス業	6.2	14.4	45.9	23.3	5.5	4.8	8.2	4.1	13.7	56.2	17.8	2.7	5.5	2.7
中小企業	4.8	13.2	46.6	24.8	7.0	3.6	13.8	2.2	12.8	53.0	22.0	4.8	5.3	11.8
大企業	7.8	11.8	52.9	25.5	0.0	2.0	5.9	3.9	17.6	60.8	13.7	0.0	3.9	7.8



参考資料：（ 2 . 生産額、売上高、完成工事高 ）

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より増加した主な理由（複数回答可）（単位 %）

増加理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	然天候などの自	増受注、必要の減少	情道の路、交通事	ズは製（商）品又	金格出の荷、販売価	促売進出等の販売	へ開新製（商）品	業業大手企業、同	客得意の先増開拓	又客は低単価の上昇	品取扱量の増減（商）
全業種	13.5	54.0	0.0	7.9	18.3	7.9	14.3	2.4	44.4	17.5	13.5
建設業	9.5	71.4	0.0	0.0	14.3	4.8	4.8	4.8	38.1	19.0	4.8
製造業	9.1	90.9	0.0	4.5	18.2	4.5	9.1	0.0	31.8	13.6	13.6
卸売業	15.8	44.7	0.0	10.5	26.3	7.9	21.1	2.6	50.0	15.8	18.4
小売業	30.8	15.4	0.0	15.4	30.8	30.8	7.7	0.0	46.2	30.8	15.4
運輸・倉庫業	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	6.7	40.0	0.0	10.0	6.7	3.3	20.0	3.3	53.3	16.7	13.3
中小企業	11.2	56.9	0.0	8.6	19.8	7.8	13.8	2.6	44.8	19.0	14.7
大企業	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0

増加理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取の取扱質（商）	採路工算線場、売部門張、場小不	変移工転場、立地舗の	約支店の開設、特	力老設の低化、店競争	又両機は導機廃入、備、替車	員営の増減、外商社	手技の増減、運	又駐は車場の増設	その他	無回答
全業種	2.4	0.8	0.8	3.2	0.8	1.6	7.9	1.6	1.6	3.2	1.6
建設業	0.0	4.8	0.0	4.8	4.8	4.8	4.8	0.0	4.8	9.5	0.0
製造業	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5
卸売業	5.3	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	13.2	0.0	0.0	0.0	2.6
小売業	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	3.3	0.0	6.7	0.0
中小企業	2.6	0.9	0.9	0.9	0.9	1.7	7.8	1.7	1.7	2.6	1.7
大企業	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より減少した主な理由（複数回答可）（単位 %）

減少理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	然天候などの自	増受注、必要の減少	情道の路、交通事	ズは製（商）品又	金格出の荷、販売価	促売進出等の販売	へ開新製（商）品	業業大手企業、同	客得意の先増開拓	又客は低単価の上昇	品取扱量の増減（商）
全業種	17.5	72.4	2.3	17.5	24.9	4.6	3.2	25.3	33.2	36.9	11.1
建設業	7.3	90.2	2.4	4.9	17.1	0.0	2.4	24.4	31.7	34.1	4.9
製造業	12.5	80.0	0.0	22.5	22.5	5.0	10.0	7.5	22.5	45.0	25.0
卸売業	19.6	80.4	2.2	17.4	32.6	10.9	2.2	23.9	26.1	34.8	15.2
小売業	27.8	50.0	0.0	33.3	27.8	8.3	2.8	38.9	44.4	41.7	8.3
運輸・倉庫業	58.3	41.7	25.0	25.0	16.7	0.0	0.0	33.3	41.7	25.0	0.0
サービス業	9.5	66.7	0.0	9.5	26.2	0.0	0.0	31.0	40.5	33.3	4.8
中小企業	17.2	73.0	2.5	17.6	24.0	3.9	3.4	25.0	33.8	36.8	11.3
大企業	23.1	61.5	0.0	15.4	38.5	15.4	0.0	30.8	23.1	38.5	7.7

減少理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取の取扱質（商）	採路工算線場、売部門張、場小不	変移工転場、立地舗の	約支店の開設、特	力老設の低化、店競争	又両機は導機廃入、備、替車	員営の増減、外商社	手技の増減、運	又駐は車場の増設	その他	無回答
全業種	2.3	2.3	0.5	0.9	3.7	1.8	6.0	4.6	0.0	6.9	0.5
建設業	2.4	0.0	0.0	0.0	7.3	4.9	9.8	7.3	0.0	2.4	0.0
製造業	0.0	5.0	0.0	2.5	0.0	5.0	0.0	2.5	0.0	12.5	0.0
卸売業	2.2	4.3	2.2	0.0	2.2	0.0	4.3	0.0	0.0	2.2	0.0
小売業	2.8	0.0	0.0	2.8	2.8	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	2.8
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	33.3	0.0	8.3	0.0
サービス業	4.8	2.4	0.0	0.0	7.1	0.0	9.5	4.8	0.0	11.9	0.0
中小企業	2.5	2.5	0.5	0.5	3.4	2.0	6.4	4.9	0.0	7.4	0.5
大企業	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### 3. 原材料、製（商）品仕入価格

《2期ぶりの上昇、次期予測は反転し下落へ》

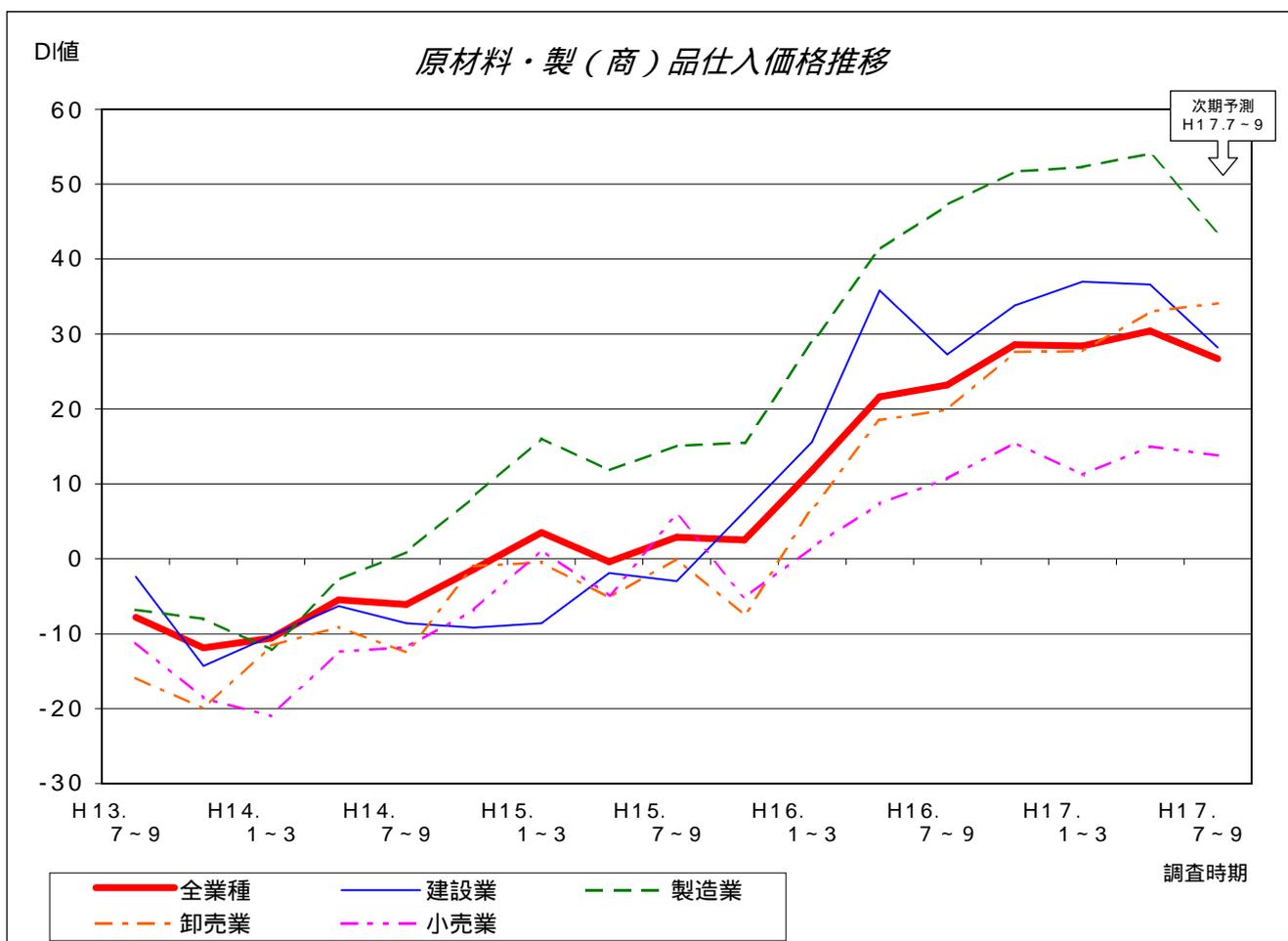
原材料、製（商）品仕入価格は「上昇」と回答した企業割合は34.3%、「下落」と回答した企業割合は3.9%となっており、DI値は30.4（前期28.4）と前期比+2.0ポイントの「上昇」となっている。

業種別に対前期比でDI値を見ると、卸売業+5.3ポイント、サービス業+4.9ポイント、小売業+3.8ポイント、製造業+1.8ポイント、の上昇に対して、建設業 0.4ポイントの下降となっている。

また、次期予測DI値については、26.7と予測されており、今期比で-3.7ポイントの「下落」予測となっている。

( 原材料、製品仕入価格(前年同期と比較して) ) ( 単位 % )

	今四半期(17年4～6月期)実績					次四半期(17年7～9月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	34.3	51.7	3.9	10.1	30.4	29.7	52.8	3.0	14.4	26.7
建設業	37.3	56.3	0.7	5.6	36.6	30.3	58.5	2.1	9.2	28.2
製造業	58.1	37.1	4.0	0.8	54.1	46.0	48.4	2.4	3.2	43.6
卸売業	42.1	47.6	9.1	1.2	33.0	37.8	52.4	3.7	6.1	34.1
小売業	20.7	70.1	5.7	3.4	15.0	19.5	65.5	5.7	9.2	13.8
運輸・倉庫業	33.3	20.0	0.0	46.7	33.3	30.0	26.7	0.0	43.3	30.0
サービス業	11.0	59.6	0.7	28.8	10.3	12.3	49.3	2.7	35.6	9.6
中小企業	35.4	51.4	3.6	9.7	31.8	30.7	52.8	2.5	14.0	28.2
大企業	21.6	54.9	7.8	15.7	13.8	17.6	52.9	9.8	19.6	7.8



#### 4. 受注価格、販売価格

《2期ぶりの下落、次期予測は反転し上昇へ》

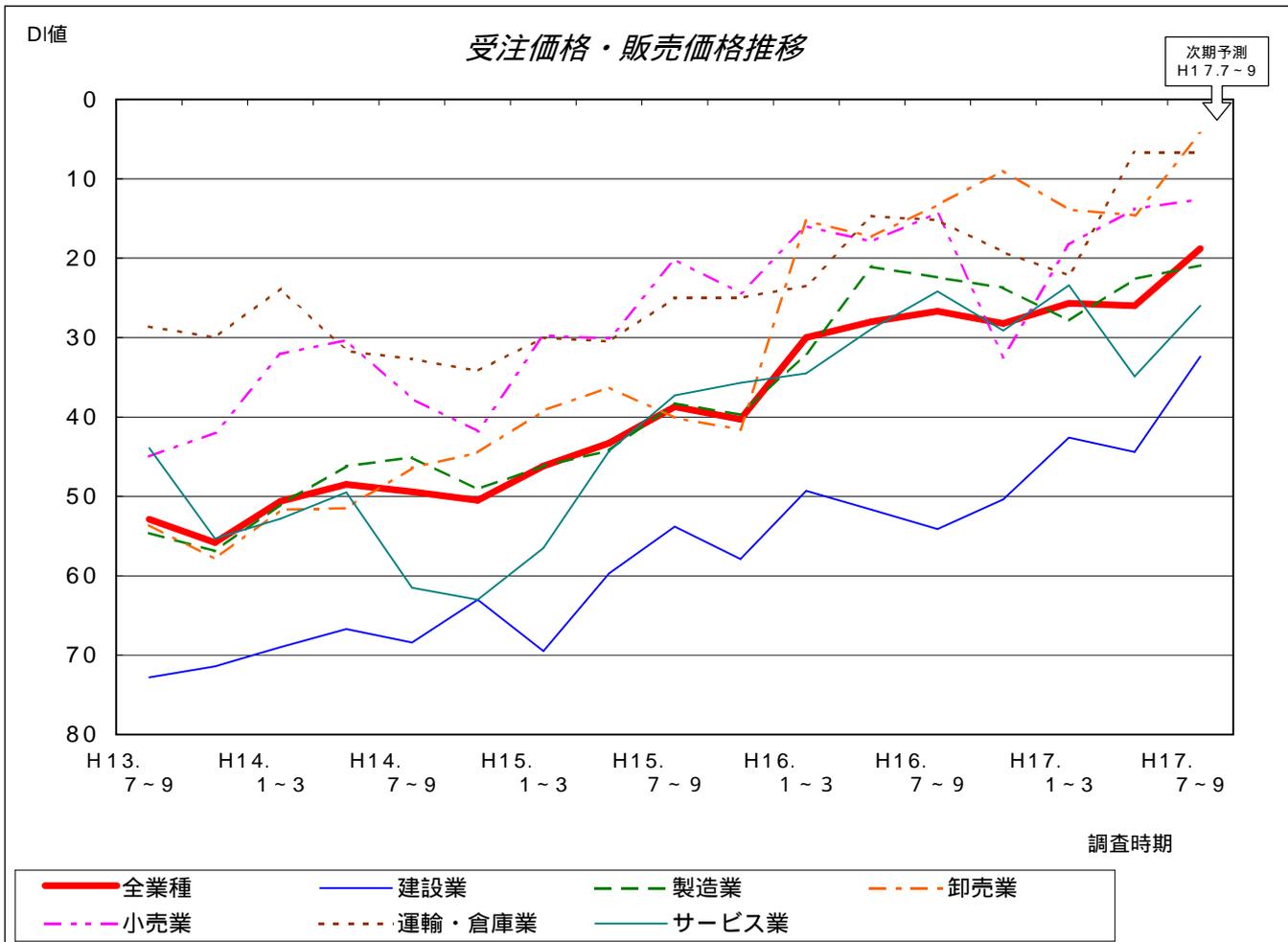
受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業割合は7.2%、「下落」と回答した企業割合は33.2%となっており、DI値は26.0（前期DI値25.7）と前期比-0.3ポイントの悪化となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業+15.5ポイント、製造業+5.3ポイント、小売業+4.5ポイントと改善となっている。一方では、卸売業-0.7ポイント、建設業-1.8ポイント、サービス業-11.5ポイントの悪化となった。

次四半期予測DI値については、18.8となっており、今期比で+7.2ポイントの改善となっている。

（受注価格、販売価格（前年同月と比較して）） （単位 %）

	今四半期(17年4～6月期)実績					次四半期(17年7～9月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	7.2	55.7	33.2	3.9	26.0	6.9	59.0	25.7	8.4	18.8
建設業	3.5	45.8	47.9	2.8	44.4	2.8	54.9	35.2	7.0	32.4
製造業	9.7	58.1	32.3	0.0	22.6	8.1	59.7	29.0	3.2	20.9
卸売業	11.6	60.4	26.2	1.8	14.6	13.4	62.8	17.7	6.1	4.3
小売業	9.2	63.2	23.0	4.6	13.8	6.9	63.2	19.5	10.3	12.6
運輸・倉庫業	0.0	73.3	6.7	20.0	6.7	0.0	76.7	6.7	16.7	6.7
サービス業	4.1	50.0	39.0	6.8	34.9	4.1	52.1	30.1	13.7	26.0
中小企業	7.6	54.7	33.6	4.0	26.0	7.3	57.6	26.5	8.6	19.2
大企業	2.0	68.6	27.5	2.0	25.5	2.0	76.5	15.7	5.9	13.7



## 5. 製(商)品在庫

《2期連続で改善、次期予測はさらに改善へ》

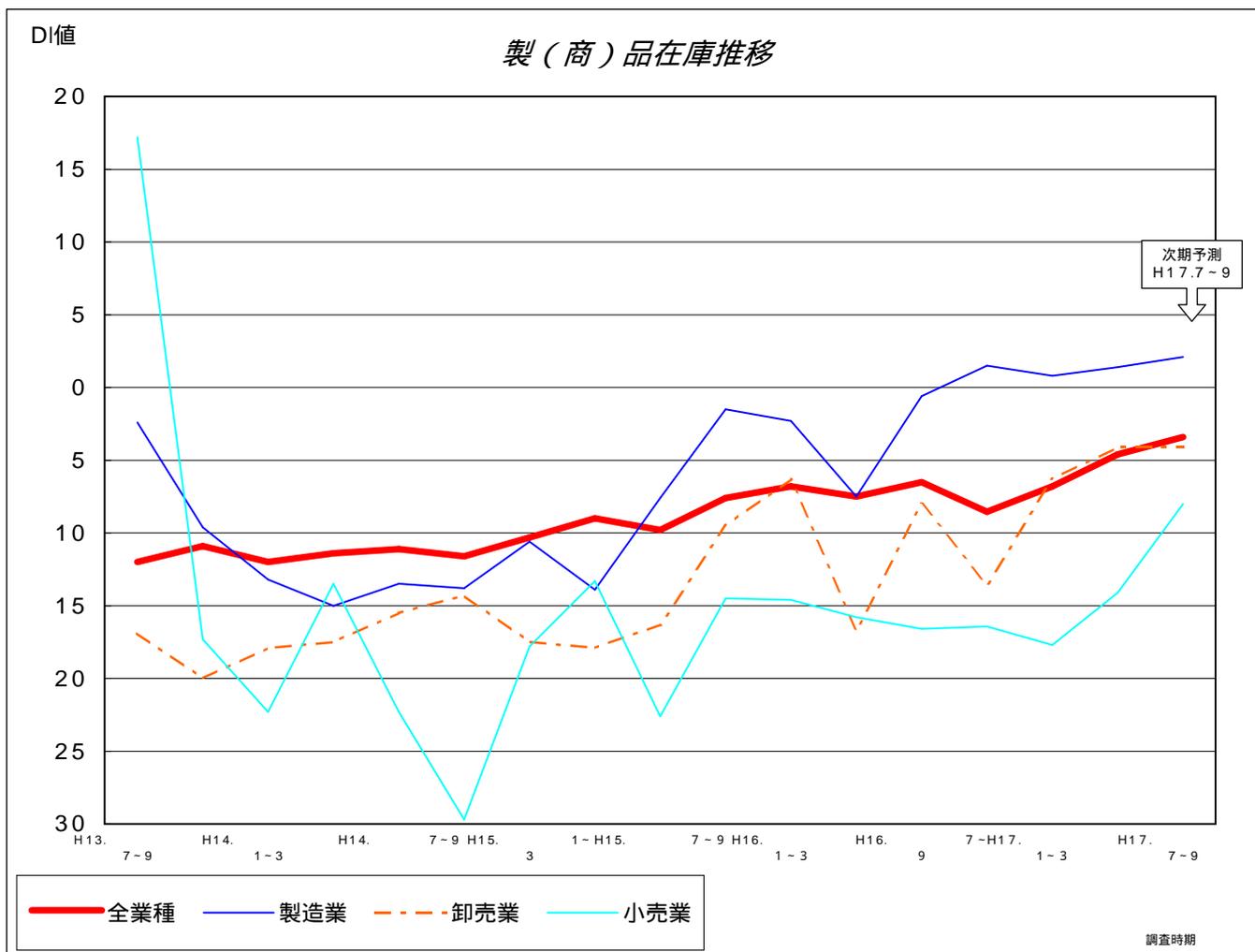
製(商)品在庫は、「適正」と回答した企業割合は64.9%、「不足」と回答した企業割合は3.3%、「過剰」と回答した企業割合は7.9%となっており、DI値は4.6と前期比で+2.2ポイント(前期DI値6.8)改善している。

次四半期予測DI値については3.4となっており、今期比で+1.2ポイントの改善が予測されている。

(製(商)品在庫(貴社の適正水準と比較して))

(単位%)

	今四半期(17年4~6月期)実績					次四半期(17年7~9月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	3.3	64.9	7.9	23.8	4.6	2.7	63.2	6.1	28.0	3.4
建設業	2.1	52.1	0.7	45.1	1.4	2.8	49.3	0.7	47.2	2.1
製造業	4.8	82.3	8.9	4.0	4.1	2.4	83.1	6.5	8.1	4.1
卸売業	2.4	76.8	16.5	4.3	14.1	2.4	77.4	10.4	9.8	8.0
小売業	3.4	78.2	14.9	3.4	11.5	2.3	74.7	13.8	9.2	11.5
運輸・倉庫業	3.3	16.7	-	80.0	3.3	3.3	20.0	-	76.7	3.3
サービス業	4.1	51.4	2.1	42.5	2.0	3.4	45.9	2.7	47.9	0.7
中小企業	3.6	65.0	7.3	24.1	3.7	3.0	63.1	5.6	28.3	2.6
大企業	-	64.7	15.7	19.6	15.7	-	64.7	11.8	23.5	11.8



## 6. 営業利益

《2期連続改善、次期予測はさらに改善へ》

営業利益は、「減少した」と回答した企業割合は41.1%、「横ばい」と回答した企業割合は42.1%、「増加」と回答した企業割合は14.9%となり、DI値は26.2と前期比+8.4ポイント改善した（前期DI 34.6）。

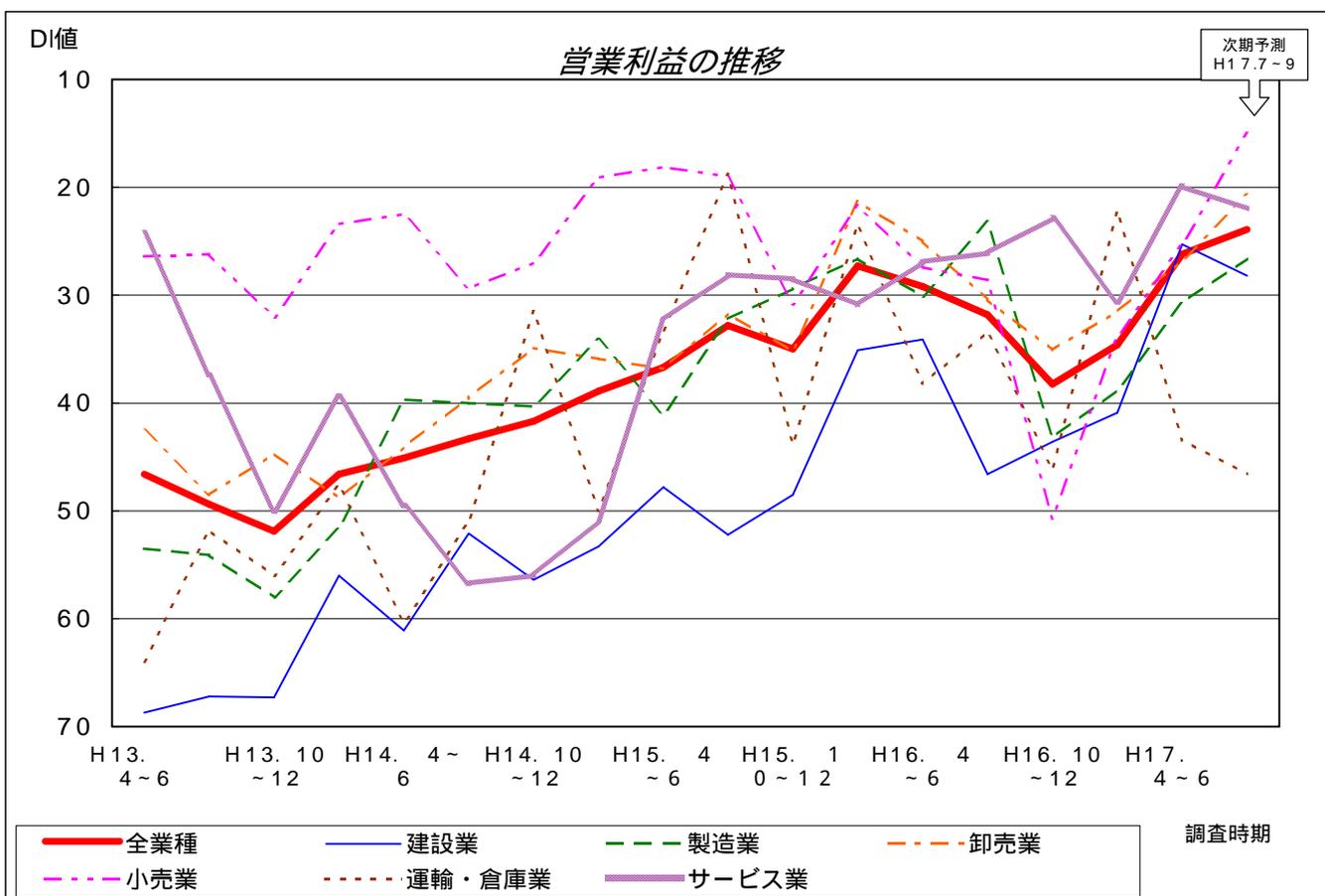
業種別に対前期比でDI値を見ると、建設業+15.6ポイント（前期DI 40.9）、サービス業+10.7ポイント（同 30.6）、小売業+8.5ポイント（同 33.8）、製造業+8.1ポイント（同 38.8）、卸売業+4.7ポイント（同 31.5）改善している。

一方では、運輸・倉庫業-21.2ポイント（前期DI 22.2）と悪化している。

規模別では、中小企業はDI値27.1と前期比+8.7ポイント、大企業はDI値15.7と前期比+4.8ポイント、で共に改善となっている。

次四半期予測DI値は23.9と、今期比で+2.3ポイントの改善が予測されている。

	（営業利益（前年同期と比較して））					（単位 %）				
	今四半期（17年4～6月期）実績					次四半期（17年7～9月期）予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全業種	14.9	42.1	41.1	1.9	26.2	10.7	47.2	34.6	7.5	23.9
建設業	11.3	48.6	36.6	3.5	25.3	7.7	47.2	35.9	9.2	28.2
製造業	15.3	38.7	46.0	0.0	30.7	12.9	43.5	39.5	4.0	26.6
卸売業	13.4	45.1	40.2	1.2	26.8	10.4	52.4	31.1	6.1	20.7
小売業	13.8	43.7	39.1	3.4	25.3	12.6	50.6	27.6	9.2	15.0
運輸・倉庫業	13.3	26.7	56.7	3.3	43.4	6.7	36.7	53.3	3.3	46.6
サービス業	20.5	37.7	40.4	1.4	19.9	11.6	44.5	33.6	10.3	22.0
中小企業	14.6	41.7	41.7	1.9	27.1	10.1	46.1	36.1	7.6	26.0
大企業	17.6	47.1	33.3	2.0	15.7	17.6	60.8	15.7	5.9	1.9



## 7. 売掛期間

《2期ぶりの改善、次期予測は反転して悪化へ》

売掛期間は、「短縮化」と回答した企業割合は1.6%、「長期化」と回答した企業割合は10.4%、「不変」と回答した企業割合は84.7%となっており、D I 値は 8.8と前期比+2.3ポイント改善した。

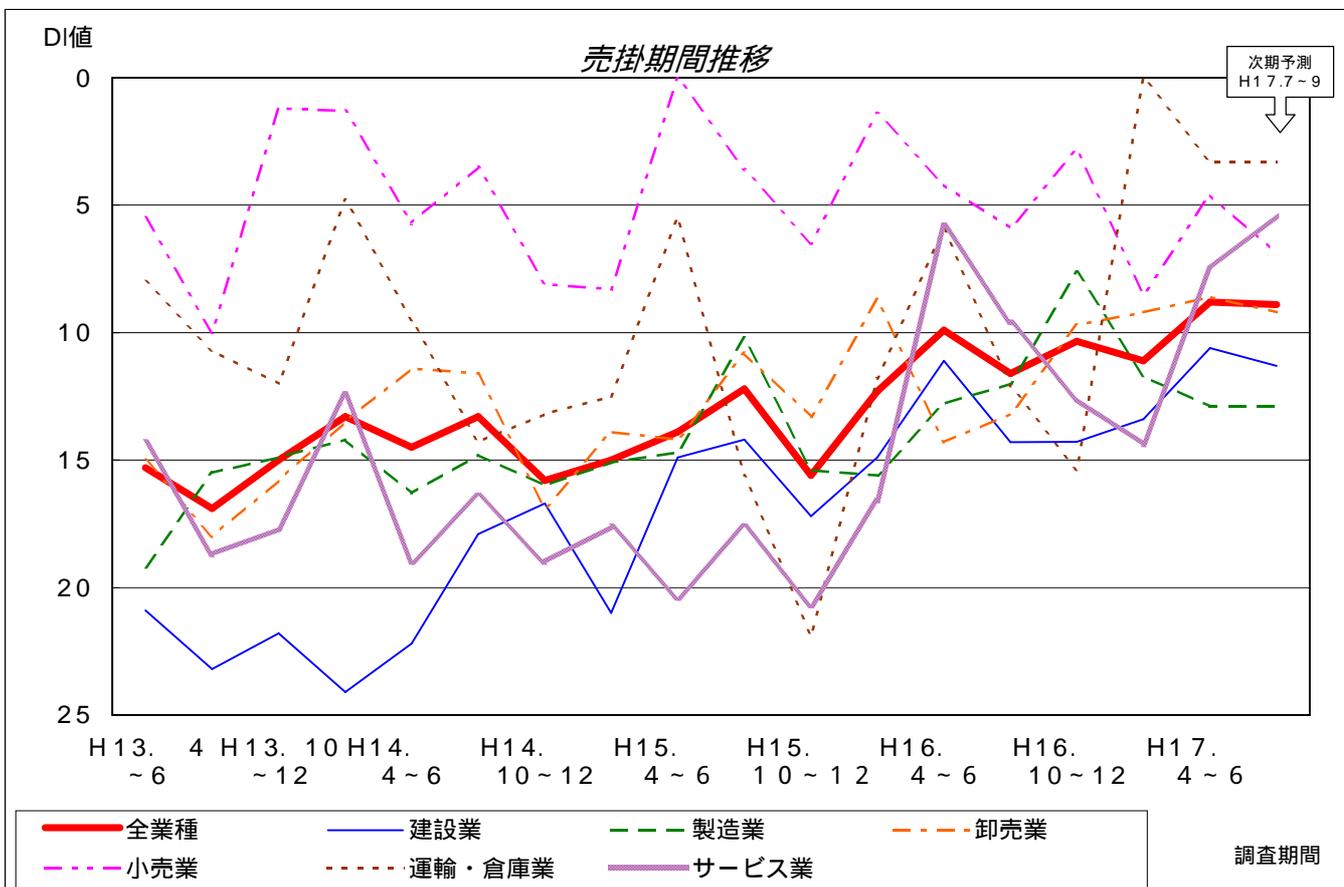
規模別のD I 値を見ると、中小企業は前期比+2.2ポイント（前期 11.8）、大企業は前期比+4.2ポイント（同 2.2）と共に改善している。

次四半期のD I 値については 8.9と、今期比で-0.1ポイントの悪化が予測されている。

（売掛期間（前年同期と比較して））

（単位 %）

	今四半期(17年4～6月期)実績					次四半期(17年7～9月期)予測				
	短縮化	不変	長期化	未記入	D I 値	短縮化	不変	長期化	未記入	D I 値
全業種	1.6	84.7	10.4	3.3	8.8	1.2	80.2	10.1	8.5	8.9
建設業	1.4	84.5	12.0	2.1	10.6	0.7	81.7	12.0	5.6	11.3
製造業	0.8	84.7	13.7	0.8	12.9	0.8	79.8	13.7	5.6	12.9
卸売業	1.8	86.0	10.4	1.8	8.6	0.6	82.9	9.8	6.7	9.2
小売業	3.4	83.9	8.0	4.6	4.6	2.3	77.0	9.2	11.5	6.9
運輸・倉庫業	-	90.0	3.3	6.7	3.3	-	86.7	3.3	10.0	3.3
サービス業	1.4	82.9	8.9	6.8	7.5	2.1	76.7	7.5	13.7	5.4
中小企業	1.6	83.8	11.2	3.4	9.6	0.9	79.4	10.9	8.7	10.0
大企業	2.0	96.1	-	2.0	2.0	3.9	90.2	-	5.9	3.9



## 8. 資金繰り

《4期ぶりに改善、次期予測は反転して悪化へ》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は6.3%、「苦しい」と回答した企業は25.4%、「不変」と回答した企業は65.8%となっており、DI値は 19.1（前期 24.3）と前期比+5.2ポイント改善している。

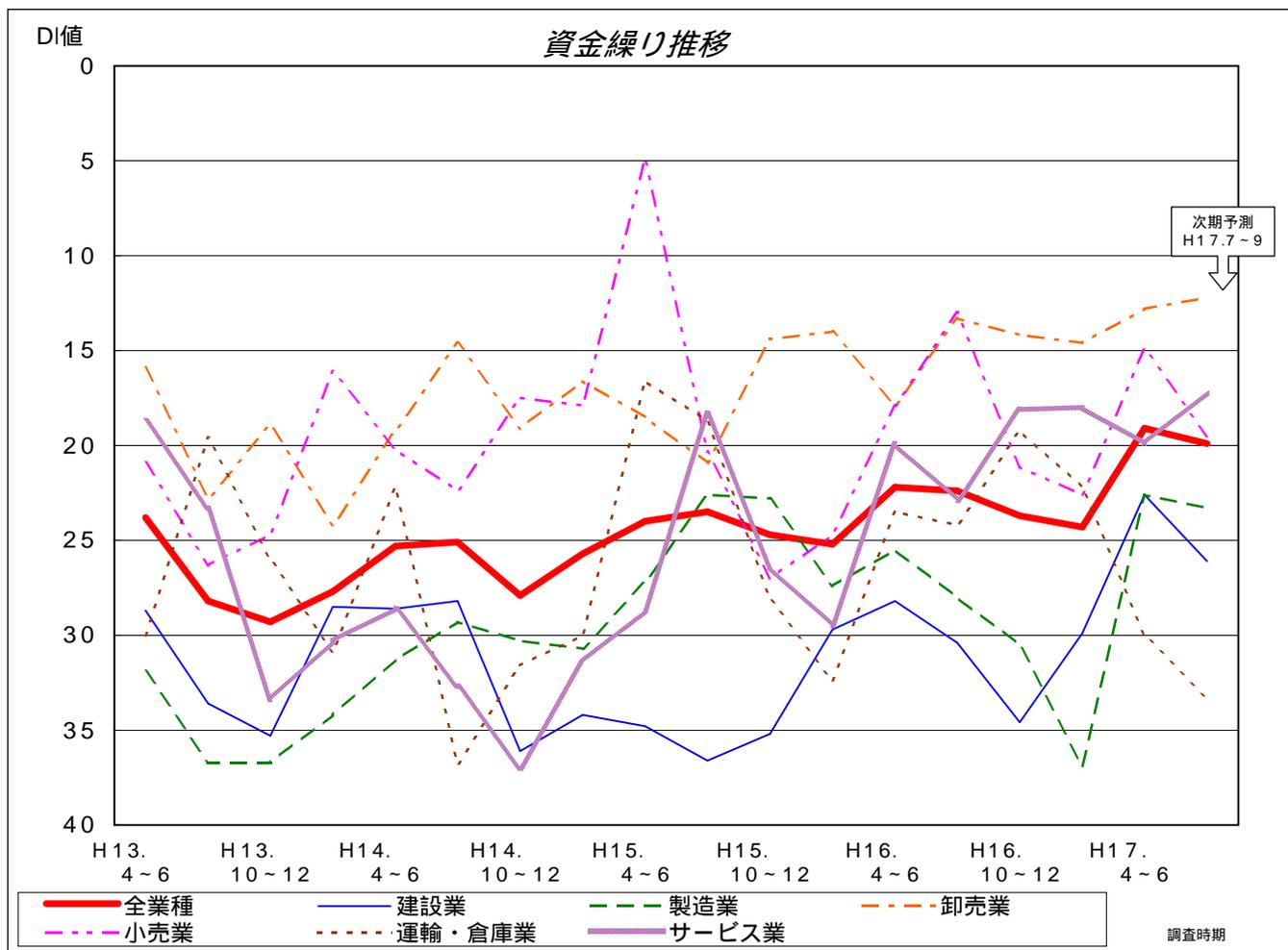
業種別に対前期比でDI値を見ると、製造業+14.3ポイント、小売業+7.7ポイント、建設業+7.3ポイント、卸売業+1.8ポイントの改善に対して、サービス業-1.9ポイント、運輸・倉庫業-7.8ポイントと悪化している。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比で+5.6ポイントの改善、大企業は前期に引き続きDI値0.0ポイントとなった。

（資金繰り(前年同期と比較して)）

（単位 %）

	今四半期(17年4～6月期)実績					次四半期(17年7～9月期)予測				
	楽である	不変	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不変	苦しくなる	未記入	DI値
全業種	6.3	65.8	25.4	2.5	19.1	4.6	62.9	24.5	7.9	19.9
建設業	4.9	63.4	27.5	4.2	22.6	1.4	63.4	27.5	7.7	26.1
製造業	5.6	65.3	28.2	0.8	22.6	6.5	58.9	29.8	4.8	23.3
卸売業	7.9	68.9	20.7	2.4	12.8	6.1	67.7	18.3	7.9	12.2
小売業	6.9	69.0	21.8	2.3	14.9	2.3	67.8	21.8	8.0	19.5
運輸・倉庫業	0.0	63.3	30.0	6.7	30.0	0.0	56.7	33.3	10.0	33.3
サービス業	7.5	63.7	27.4	1.4	19.9	6.8	58.9	24.0	10.3	17.2
中小企業	6.2	64.6	26.8	2.3	20.6	4.5	61.4	26.0	8.1	21.5
大企業	7.8	80.4	7.8	3.9	0.0	5.9	82.4	5.9	5.9	0.0



## 9. 100万円以上の新規借入

100万円以上の新規借入を「行った」とする企業は42.9%(前期49.0%)と前期比で6.1%の減少となっている。一方で、「行っていない」とする企業は55.7%(前期48.5%)と前期比で7.2%増加した。

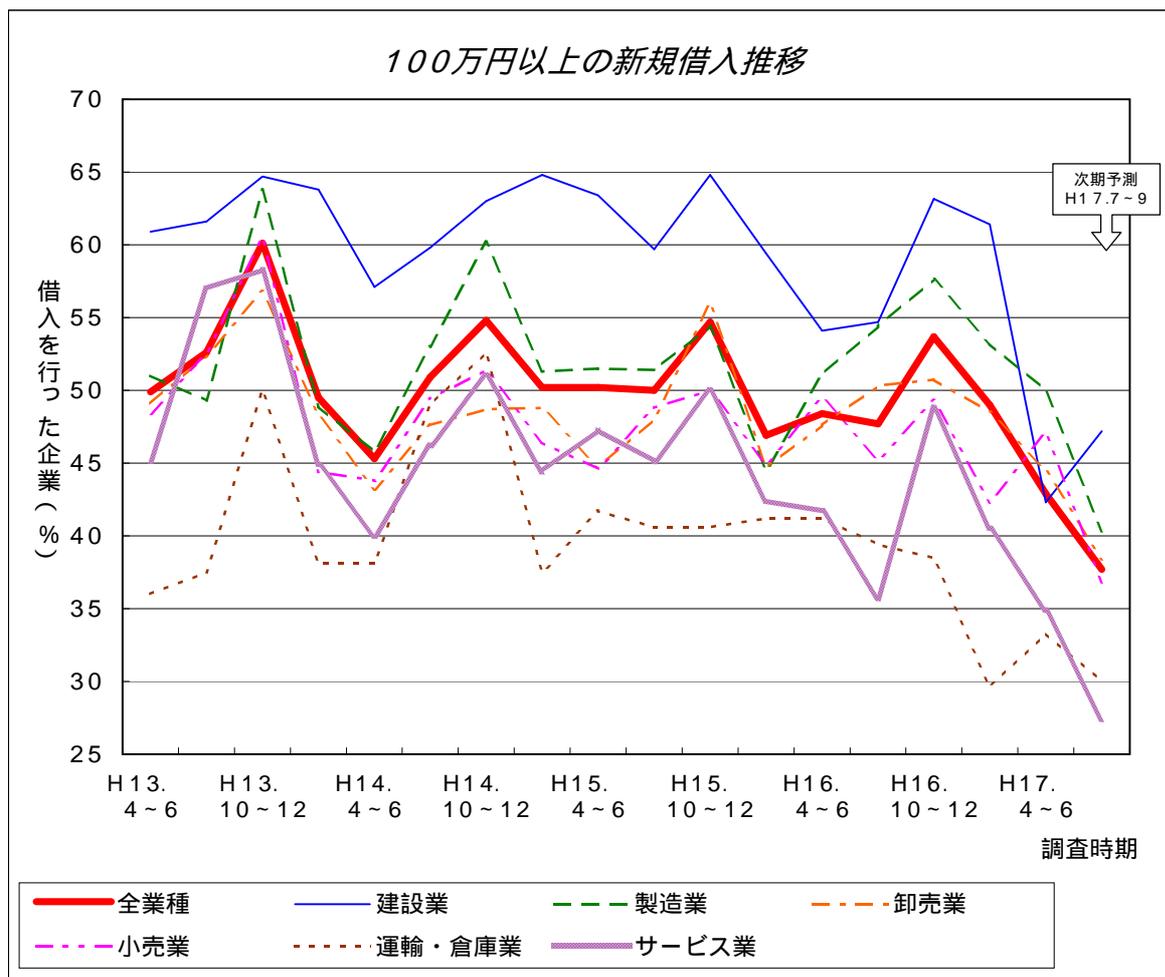
資金用途については、「運転」76.8%、「運転・設備」12.1%、「設備」5.1%という内訳になっている。

次四半期については、「行う予定」とする企業は37.7%、「行わない」とする企業は56.3%となっている。

(100万円以上の新規借入)

(単位%)

	今四半期(17年4~6月期)実績			次四半期(17年7~9月期)予測		
	行った	行っていない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	42.9	55.7	1.4	37.7	56.3	6.1
建設業	42.3	57.0	0.7	47.2	47.9	4.9
製造業	50.0	49.2	0.8	40.3	55.6	4.0
卸売業	44.5	54.9	0.6	38.4	56.1	5.5
小売業	47.1	50.6	2.3	36.8	54.0	9.2
運輸・倉庫業	33.3	63.3	3.3	30.0	63.3	6.7
サービス業	34.9	62.3	2.7	27.4	65.1	7.5
中小企業	41.6	57.3	1.1	36.6	57.6	5.8
大企業	58.8	35.3	5.9	51.0	39.2	9.8



# 100万円以上の新規借入資金使途

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 新規借入の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 新規借入予定の資金使途(予測)			
	運転資金	運転設備	設備資金	無回答	運転資金	運転設備	設備資金	無回答
全業種	76.8	12.1	5.1	6.1	73.2	15.7	5.4	5.7
建設業	90.0	3.3	5.0	1.7	85.1	10.4	1.5	3.0
製造業	75.8	8.1	4.8	11.3	70.0	12.0	10.0	8.0
卸売業	78.1	12.3	4.1	5.5	71.4	15.9	4.8	7.9
小売業	63.4	29.3	2.4	4.9	62.5	25.0	6.3	6.3
運輸・倉庫業	60.0	10.0	0.0	30.0	55.6	11.1	11.1	22.2
サービス業	74.5	13.7	9.8	2.0	72.5	22.5	5.0	0.0
中小企業	79.4	10.1	4.1	6.4	75.3	13.6	4.7	6.4
大企業	53.3	30.0	13.3	3.3	53.8	34.6	11.5	0.0

## 10. 100万円以上の設備投資

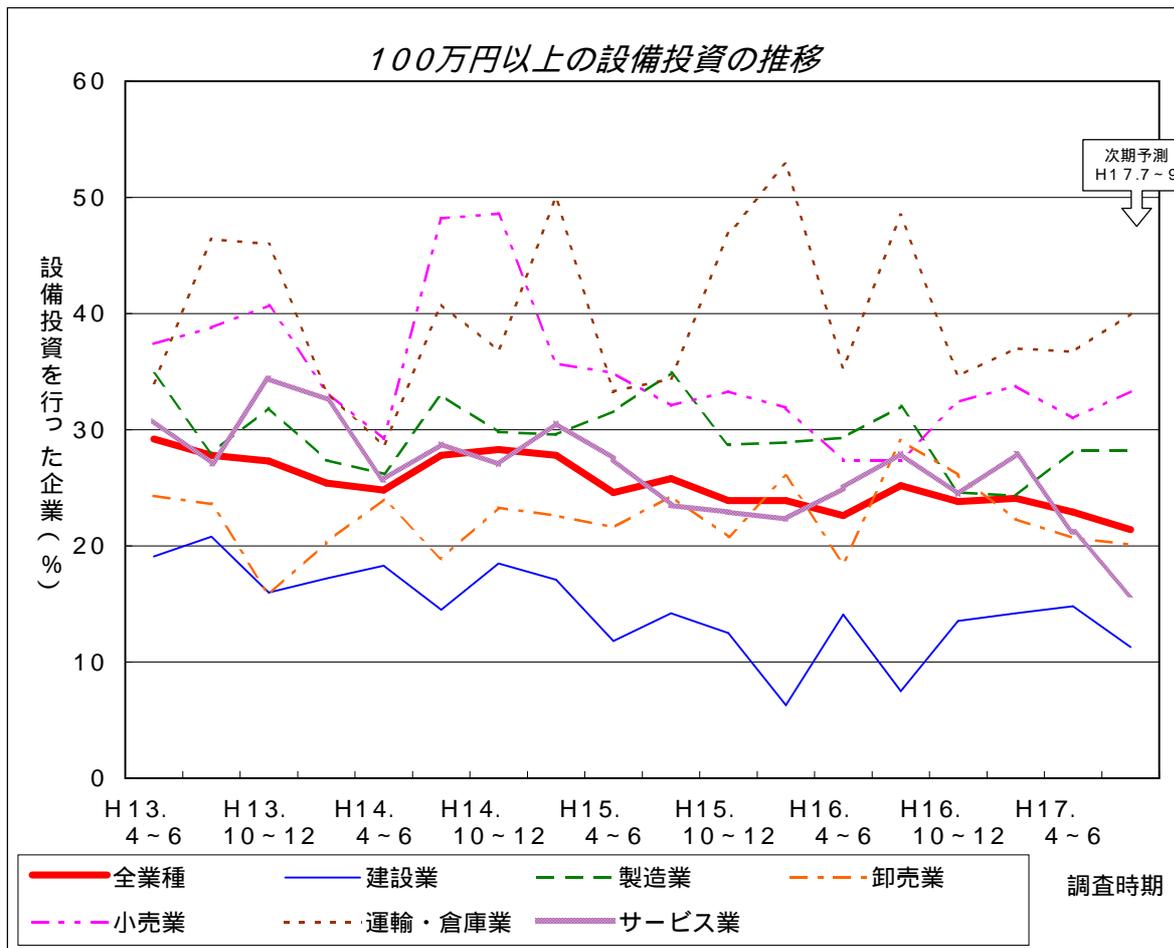
100万円以上の設備投資を「行った」とする企業は22.9%、「行ってない」とする企業は72.0%となっており、その投資内容については、「新規」25.2%、「新規・更新」37.1%、「更新」26.4%という内訳になった。

次期予測については、「行う予定」とする企業は21.4%、「行わない」とする企業は68.7%であり、その投資内容については、「新規」23.0%、「新規・更新」45.9%、「更新」25.0%となっている。

( 100万円以上の設備投資 )

( 単位 % )

	今四半期(17年4~6月期)実績			次四半期(17年7~9月)予測		
	行った	行ってない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	22.9	72.0	5.1	21.4	68.7	10.0
建設業	14.8	81.0	4.2	11.3	80.3	8.5
製造業	28.2	68.5	3.2	28.2	63.7	8.1
卸売業	20.7	72.6	6.7	20.1	67.1	12.8
小売業	31.0	64.4	4.6	33.3	54.0	12.6
運輸・倉庫業	36.7	60.0	3.3	40.0	56.7	3.3
サービス業	21.2	72.6	6.2	15.8	74.7	9.6
中小企業	20.4	74.8	4.8	19.0	71.3	9.7
大企業	54.9	37.3	7.8	51.0	35.3	13.7



# 100万円以上の設備投資

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 設備投資の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 設備投資計画の資金使途(予測)			
	新規	新規、更新	更新	無回答	新規	新規、更新	更新	無回答
全業種	25.2	37.1	26.4	11.3	23.0	45.9	25.0	6.1
建設業	28.6	47.6	23.8	0.0	12.5	62.5	25.0	0.0
製造業	17.1	31.4	34.3	17.1	11.4	57.1	22.9	8.6
卸売業	29.4	35.3	17.6	17.6	27.3	39.4	24.2	9.1
小売業	29.6	44.4	14.8	11.1	27.6	44.8	20.7	6.9
運輸・倉庫業	18.2	18.2	54.5	9.1	25.0	8.3	66.7	0.0
サービス業	25.8	38.7	29.0	6.5	34.8	47.8	13.0	4.3
中小企業	24.4	33.6	29.0	13.0	24.6	42.6	26.2	6.6
大企業	28.6	53.6	14.3	3.6	15.4	61.5	19.2	3.8

## 11. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点としては、「受注、販売競争の激化」60.8%、「売上高、生産額、工事高の伸び悩み」50.6%、「営業利益の低下」45.9%の3項目を指摘する傾向が依然として続いており、全業種ともほぼ3項目に集中している。

他に指摘が集中した項目として、建設業の「官公需要の停滞」43.0%、製造業の「原材料高、入手難」41.1%・「出荷、納品価格の値下げ要請」36.3%、卸売業の「販売価格への転嫁難」39.0%、小売業の「同業者、類似店、大型店の進出」32.2%が挙げられ、3割を越す指摘となっている。

( 当面の経営上の問題点(複数回答可) )

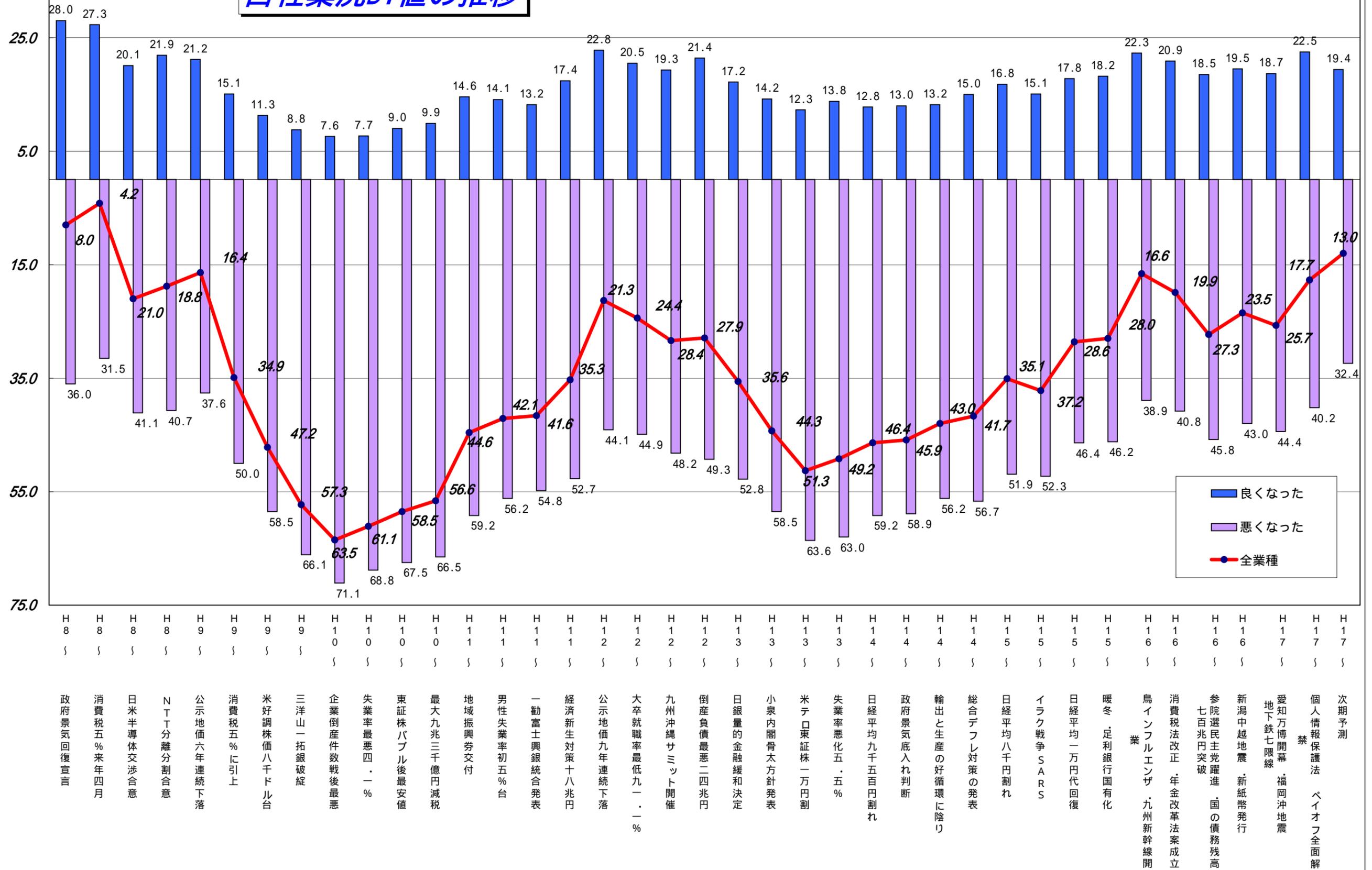
( 単位 % )

問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	の受注、販売競争の激化	び額売、上額、工事高の産伸	出店、業者、大型、店の進	官公需要の停滞	輸出不振	元請の減少	低下率、稼働率	難原材料高、入手	の出荷、納品価格	過剰在庫	嫁販売価格への転	増難販、代金の回収	化売、掛金の長期
全業種	60.8	50.6	13.4	19.2	1.2	7.2	6.3	16.9	18.2	3.9	25.7	6.8	8.4
建設業	78.9	62.0	8.5	43.0	0.0	23.9	5.6	12.7	12.0	0.7	12.7	3.5	9.9
製造業	61.3	61.3	4.0	17.7	2.4	6.5	13.7	41.1	28.2	3.2	36.3	6.5	6.5
卸売業	57.9	42.1	12.2	14.6	2.4	1.8	4.3	17.7	28.0	9.1	39.0	12.2	11.6
小売業	47.1	44.8	32.2	5.7	1.1	0.0	0.0	5.7	14.9	6.9	25.3	4.6	10.3
運輸・倉庫業	43.3	46.7	20.0	3.3	0.0	0.0	16.7	23.3	6.7	0.0	23.3	6.7	0.0
サービス業	57.5	44.5	15.1	13.7	0.0	3.4	4.8	4.8	8.9	0.7	15.1	5.5	5.5
中小企業	60.3	51.6	12.8	19.9	1.1	7.8	6.9	17.1	19.2	3.7	25.5	7.0	9.0
大企業	66.7	39.2	21.6	9.8	2.0	0.0	0.0	13.7	5.9	5.9	27.5	3.9	0.0

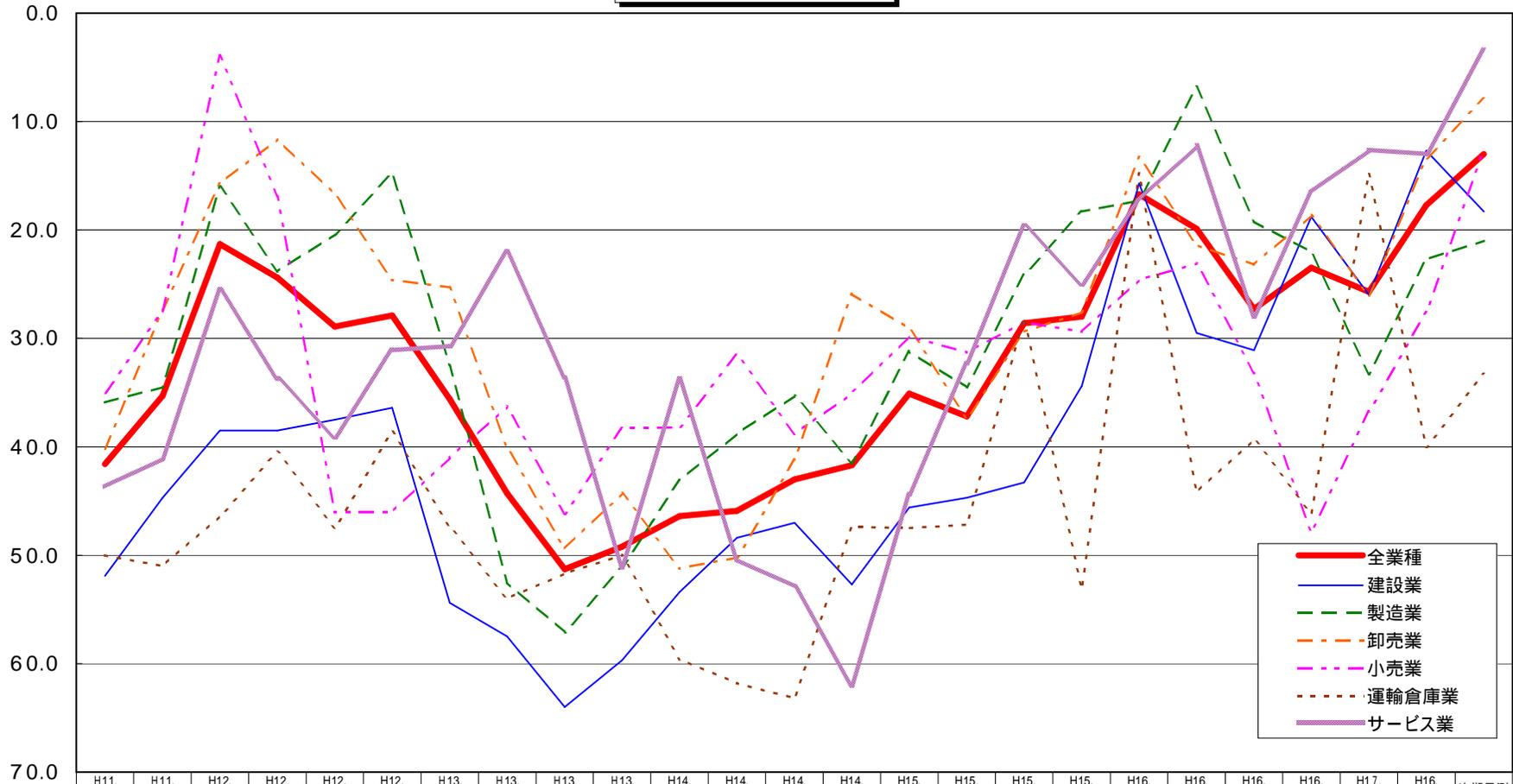
問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費の増加	営業利益の低下	不隘店、舗、駐工場用地狭	代剩、店、老朽化、設備、近	が家賃地代の値上	化難人、材、定着、性の人悪	費人手過剩、人件	対労務管理、組合	資金借入難	金利負担増加	難情報不足、人材	その他	無回答
全業種	19.9	45.9	2.0	4.8	1.2	16.6	4.5	2.2	7.6	6.9	5.8	1.7	2.6
建設業	18.3	52.1	1.4	2.1	1.4	18.3	4.9	0.7	9.2	9.9	9.2	0.0	2.1
製造業	12.9	45.2	2.4	8.9	0.8	11.3	4.0	0.0	7.3	8.9	3.2	2.4	0.8
卸売業	23.8	50.6	1.8	1.8	1.2	10.4	3.0	0.0	5.5	6.1	3.7	1.2	3.0
小売業	21.8	39.1	4.6	8.0	1.1	17.2	4.6	3.4	5.7	3.4	4.6	1.1	3.4
運輸・倉庫業	30.0	43.3	3.3	6.7	0.0	26.7	6.7	0.0	10.0	3.3	10.0	0.0	3.3
サービス業	19.9	39.7	0.7	4.8	1.4	24.0	5.5	7.5	9.6	6.2	6.8	4.1	3.4
中小企業	20.1	46.7	1.7	4.4	1.1	16.5	4.4	1.6	7.9	7.0	6.1	1.6	2.6
大企業	17.6	35.3	5.9	9.8	2.0	17.6	5.9	9.8	3.9	5.9	2.0	3.9	2.0

自社業況の景況判断推移（「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考）

自社業況DI値の推移



### 自社業況DI値の推移



	H11. 7-9	H11. 10-12	H12. 1-3	H12. 4-6	H12. 7-9	H12. 10-12	H13. 1-3	H13. 4-6	H13. 7-9	H13. 10-12	H14. 1-3	H14. 4-6	H14. 7-9	H14. 10-12	H15. 1-3	H15. 4-6	H15. 7-9	H15. 10-12	H16. 1-3	H16. 4-6	H16. 7-9	H16. 10-12	H17. 1-3	H16. 4-6	次期予測
全業種	41.6	35.3	21.3	24.4	28.9	27.9	35.6	44.3	51.3	49.2	46.4	45.9	43.0	41.7	35.1	37.2	28.6	28.0	16.7	19.9	27.3	23.5	25.7	17.7	13.0
建設業	51.9	44.7	38.5	38.5	37.5	36.4	54.4	57.5	64.0	59.7	53.4	48.4	47.0	52.7	45.6	44.7	43.3	34.4	15.7	29.5	31.1	18.8	26.0	12.7	18.3
製造業	35.9	34.5	16.0	23.8	20.4	14.8	32.5	52.5	57.1	51.1	43.1	38.8	35.3	41.5	31.2	34.5	24.1	18.3	17.3	6.8	19.2	22.0	33.3	22.7	21.0
卸売業	40.2	27.4	15.7	11.6	16.7	24.6	25.3	40.1	49.4	44.3	51.2	50.2	41.2	25.9	29.1	37.4	29.4	27.6	13.3	21.4	23.2	18.7	26.1	13.4	7.9
小売業	35.0	27.5	3.9	16.9	46.0	46.0	41.0	36.3	46.2	38.3	38.2	31.5	38.8	35.1	29.8	31.3	28.5	29.4	24.6	23.1	33.2	47.9	36.7	27.6	12.6
運輸倉庫業	50.0	51.0	46.4	40.5	47.5	38.6	47.4	54.0	51.7	50.0	59.6	61.8	63.2	47.4	47.5	47.2	28.1	53.1	14.8	44.2	39.3	46.2	14.8	40.0	33.3
サービス業	43.7	41.1	25.5	33.7	39.1	31.1	30.7	22.0	33.6	51.1	33.7	50.4	52.9	62.0	44.4	32.3	19.6	25.0	17.3	12.2	28.0	16.5	12.6	13.0	3.4